

富山県医療審議会及び富山県医療対策協議会 議事要旨

開催日時	平成 29 年 5 月 11 日（金） 16:00～17:00			
開催場所	県民会館 304			
出席者	医療審議会委員	24 名中	出席 18 名	代理 2 名 欠席 4 名
	医療対策協議会委員	25 名中	出席 21 名	代理 1 名 欠席 3 名
	（うち重複	15 名	14 名	1 名 2 名）

議事要旨

1 開会

2 挨拶（蔵堀部長）

3 議題

1. 会長及び会長職務代理者の選任について

委員の互選により、審議会会長に馬瀬大助委員、会長職務代理者に山口敏彦委員が、また、協議会会長に馬瀬大助委員が選任された。

2. 富山県医療計画の見直しについて

【資料に基づき県から内容を説明した後、質疑応答】

（委員） 精神疾患において「在院 5 年以上かつ 65 歳以上の退院患者数」を指標としているが、死亡退院を含めない数とされたい。

（事務局） 検討したい。

（委員） 胃がんにおいて、有効な予防手段としてピロリ菌除菌が進んでいる。医療計画への記載を検討する時期にきたのではないか。

（事務局） がんについては、「がん対策推進計画」の改定を検討する「がん対策推進協議会」において検討予定である。

3. 地域医療構想の推進について

【資料に基づき県から内容を説明した後、質疑応答】

（委員） 病床機能報告が地域医療構想の進捗状況の指標となると思っていた。参照指標といわれるとモチベーションが下がるのではないか。

（事務局） 国では、疾患別の進捗状況を把握したいが、現時点では、病棟ごとに報告される病床機能報告を持って進捗を評価することとしている。

（委員） 平成 37 年（2025 年）まで、約 10 年であり、慢性期病床の在り方が大きく問われる期間となるだろう。

4 報告

・富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにおける療養介護病棟の新設整備について

【資料に基づき県から内容を説明した後、質疑応答】

（意見・質問なし）

5 閉会